



北町中学校だより

誠・力・光

5月 

令和8年度 5月号

## “いい風”をつくろう

校長 岩本 眞由美

“いい風”とは、どういう意味だと思いますか。私が皆さんに伝えたい“風”とは、「そこにいる人や友だちが創り出すもの。例えば、話す言葉・表情・態度・醸し出す雰囲気・文化・空気感」のことで。話し言葉や雰囲気が穏やかで、やる気や活気にあふれている様子や、お互いに助け合い高めあっている姿などを、“いい風をつくっている”といいます。

私が高校に入学したとき、高校受験に疲れ、また学校の環境の変化も大きく、元気をなくしてしまいました。そんな時、ある友だちが気遣って「こうすればいい」「さあ、次はこう」といつも温かく声をかけてくれました。この友だちに助けられ、勇気付けてもらったことで、私はなんとかスランプから抜け出すことができました。また、周りの友だちも大きな目標を心に秘め、時間の使い方や気持ちの切り替えが上手でした。

こうして、私は仲間がつくってくれた“いい風”に乗って、前向きに高校生活を送ることができました。今でもその仲間には感謝しています。

大人になってから、ある友だちから「私は、あなたのおかげで救われたの。」と言われました。その友だちは、中学生のときに転校してきました。お互いに打ち解けるきっかけを探していましたが、趣味が同じであることが偶然わかり、一気に仲良くなりました。『あなたのおかげ』との思いもしなかった言葉にとても驚きましたが、こんな自分でも人の役に立っていたのかと嬉しくなりました。私たちの言葉や態度には、人を変える素晴らしい力があると改めて実感し、私は少しでも“いい風”をつくることができていたのかな・・・とも振り返っています。そして、私もその友だちの“いい風”に乗り、一緒に楽しく過ごすことができました。

しかし、それと同時に『自分の言動が相手の人生に与える、影響や畏（おそ）れ』も感じています。自分の言葉や態度が人を傷付け、命も奪ってしまうことがあるかもしれないと思うと、本当に恐ろしいことです。それは“吹かせてはならない風”“つくってはならない風”です。皆さんの周りではどうでしょうか。このようなことがあるならすぐに止め、解決策を考え、よりよくなるよう行動をしていくことです。

そこで、皆さん、一人一人が得意なことやよさを発揮して、“いい風”をつくっていきましょう。きっとその風は、大きな流れやうねりとなり、クラス・学年・学校全体・皆さんの世界をよりよく、幸せに変えていくはずですよ。

いい風 を  
つくろう

自分ができるときは、進んで「いい風をつくる」。反対に、自分が辛いときやうまくいかないときは「周りのいい風に乗る」「優しい風に包まれる」。みんなで助け合い支え合い、切磋琢磨する。そんな温かで優しい仲間や学校、つながりでありたいと考えています。頑張っている人や努力している人など、いいなあと思う皆さんを見たら、「いい風つくってますね」等と声をかけます。さあ、今からみんなで北町中の“いい風”をつくっていきましょう！